

## 更級小校歌

1908年

(明治41年)

一 冠着山の峯高く  
千曲の川の水清し  
さやけくすめる更級の  
月影てらす山と水

作詞 浅井 渕 吉 よし

二 学びの道を一筋に

心の月の曇りなく  
人をたのまずおのがじし  
たゆまずうまず進むべし

三 聳ゆる山のいや高く

流るる川のいや遠く  
月にみがきて更級の  
里の名を世に伝うべし

一 信濃の国は十州に

境連ぬる国にして  
聳ゆる山はいや高く  
流るる川はいや遠し  
松本伊那佐久善光寺  
四つの平は肥沃の地  
海こそなければ物さわに  
万ず足らわぬ事ぞなき

## 信濃の国

1899年

(明治32年)

四 尋ねまほしき園原や

旅のやどりの寝覚の床  
木曾の棧かけし世も  
心してゆけ久米路橋  
くる人多き筑摩の湯  
月の名にたち姨捨山  
しるき名所と風雅士が  
詩歌に詠てぞ伝えたる

更級の里の名前を

たくさんのんに

伝えなさい

